

21 名古屋西部ソイルリサイクル株式会社

令和2年7月1日現在

設立年月日		平成6年9月5日		代表者氏名		代表取締役社長 松永 元秀					
所在地		愛知県弥富市楠三丁目24番1					電話番号		0567-68-5822		
ホームページアドレス		http://www.meiseisoil.com/									
資本金・基本金		200,000千円		市出資・出捐金		82,000千円		(41.0%)			
所管部局		緑政土木局企画経理課					電話番号		052-972-2453		
設立目的		資源の有効利用の促進と事業の効率的な遂行のため、建設工事から発生する比較的軟弱な発生土を含む土砂及び付随して発生する路盤材を原料とした改良土及び改良路盤材の製造並びに販売を目的とする。									
主な事業	事業名		令和元年度 営業収益		事業の概要						
	改良土・改良路盤材・調整土の製造・販売		528,263千円		工事現場から発生する発生土・発生路盤材から改良土・改良路盤材・調整土を製造・販売している。						
役職員数			常				勤		非常勤		
	役員数		2人		(うち市派遣) 0人		(うち市OB) 1人		12人		
	職員数		14人		(うち市派遣) 0人		(うち市OB) 2人		0人		
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)		7,000千円		正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)			6,119千円		正規職員平均年齢 (市派遣職員除く)		44.1歳
			平成29年度		平成30年度			令和元年度			
市からの財政支出	委託料		0千円		0千円			0千円			
	内 随意契約金額		(0千円)		(0千円)			(0千円)			
	補助金		0千円		0千円			0千円			
	指定管理料		0千円		0千円			0千円			
	貸付金 (年度末残高)		0億円		0億円			0億円			
損益計算書 (正味財産増減計算書)	経常収益		545,305千円		512,824千円			528,909千円			
	経常費用		477,145千円		492,142千円			457,445千円			
	経常利益(損失)		68,160千円		20,682千円			71,464千円			
	当期利益(損失)		45,748千円		9,381千円			45,329千円			
貸借対照表	総資産		1,364,874千円		1,388,574千円			1,442,665千円			
	内 流動資産		(209,098千円)		(256,703千円)			(699,389千円)			
	内 固定資産等		(1,155,776千円)		(1,131,871千円)			(743,276千円)			
	総負債		26,121千円		50,440千円			64,201千円			
	内 流動負債		(24,386千円)		(48,705千円)			(62,466千円)			
	内 固定負債等		(1,735千円)		(1,735千円)			(1,735千円)			
	純資産(正味財産)		1,338,753千円		1,338,135千円			1,378,464千円			

経営に関する指標（共通指標）

21 名古屋西部ソイルリサイクル株式会社

○法人の自立性		平成30年度	令和元年度	対前年度増減
市からの収入割合	$\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
市との随意契約比率	$\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
		令和元年7月1日現在	令和2年7月1日現在	対前年度増減
市職員の役員就任割合	$\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	21.4%	21.4%	0.0%
固有職員比率	$\left(\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	85.7%	85.7%	0.0%
○組織運営の効率性		平成30年度	令和元年度	対前年度増減
販売・管理費比率	$\left(\frac{\text{販売・管理費}}{\text{経常収益}} \right)$	13.0%	12.5%	▲0.5%
○財務の健全性		平成30年度	令和元年度	対前年度増減
自己資本比率	$\left(\frac{\text{純資産（正味財産）}}{\text{総資産}} \right)$	96.4%	95.5%	▲0.9%
流動比率	$\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	527.1%	1119.6%	+592.5%
固定長期適合率	$\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産＋固定負債}} \right)$	84.5%	53.9%	▲30.6%
借入金依存度	$\left(\frac{\text{借入金＋社債}}{\text{総資産}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
剰余金（欠損金）	$\left(\frac{\text{純資産（正味財産）}}{\text{－基本金・資本金}} \right)$	1,138,135千円	1,178,464千円	40,329千円

○ 経営戦略計画（H29～H31）の概要

経営戦略方針			
・改良土及び改良路盤材を質・量ともに安定的に供給することを最優先する。 ・効率的な経営を推進し、財務基盤を強化して経営の安定化を図る。 ・平成28年度に策定した設備改良計画に基づき、着実に設備等の改良を進める。 ・社員の能力のレベルアップにより業務の効率化及び安全性の向上並びに製品のさらなる品質向上を目指す。			
主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標（単位）	31 目標値	31 実績値
顧客の要望に添った製品の製造・販売や柔軟な営業体制を構築することにより、現顧客の利用を高めるとともに、新規顧客の開拓につなげる。 【公共サービスの充実】	250千トン以上の販売量/年度	250千トン	220千トン
安定的かつ持続的な生産を維持するため、プラントの改良を進める。 【効率性の発揮と成果】	平成28年度に策定した設備改良計画に基づき、着実に設備等の改良を進める。	平成31年度改良計画の実施	平成31年度改良計画の実施
プラント等の改良に当たり多額の債務を負わないよう、財務基盤を強化し、極力自己資金を充てていく必要があるが、それを可能にするために、一定以上の売上高及び純利益を確保する。 【財務内容の改善・向上】	6.2億円以上の売上高/年度	5.3億円	5.3億円
	8千万円以上の純利益/年度	3千万円	4.5千万円
社員の能力を向上させるとともに、労働安全衛生の意識を高める。 【人材力・現場力の強化】	1回以上の研修、講習会の参加/1年/全社員	全社員による年1回以上の参加	全社員による年1回以上の参加
	労働災害事故件数0	労災件数0	労災件数1